

子供と花を育てる会



西 桂 町

◇活動内容の紹介①

(活動概要)

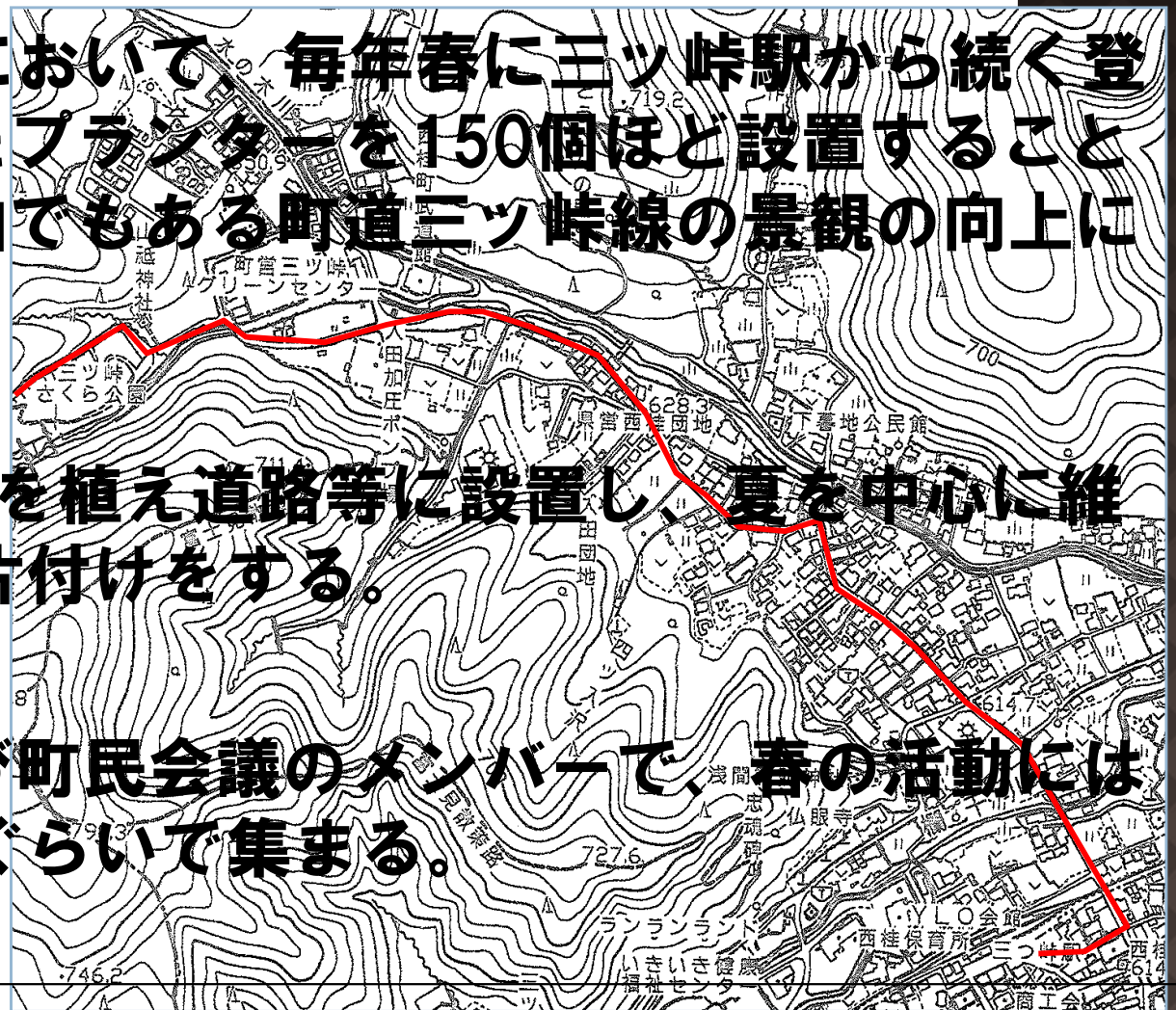
三ツ峠麓の下暮地地区において、毎年春に三ツ峠駅から続く登山道沿いに、花をうえたプランターを150個ほど設置することにより、当町景観形成軸でもある町道三ツ峠線の景観の向上に寄与している。

(活動時期)

毎年6月プランターに花を植え道路等に設置し、夏を中心に維持管理をして、12月頃片付けをする。

(活動人員)

下暮地地区の育成会及び町民会議のメンバーで、春の活動には子供30人、大人20人ぐらいで集まる。



◇活動内容の紹介②

(活動の成果)

夏にはたくさんの花が咲き、道並みがとてもきれいになる。近年増えている登山者の目を楽しませている。また、多くの子供が参加することで、地域の繋がりの一助となっている。

(活動で学習したこと)

ホームセンターで売っている土が、自家製で畑の土に肥料を混ぜたものよりも品質がよくて、花が強く長く咲くことが分かった。

(活動の今後の展開)

設置するプランターの数に順次増やしたい。今後は冬の花も挑戦して、一年を通してプランターを置いていきたい。下幕地だけでなく町中に広まれば嬉しい。

◇政策提案①

(現状の課題)

一部プランター設置箇所付近の方の協力を得ているものの、水やりがたいへんであるとのこと。冬時期の設置は除雪作業の妨げになる可能性があること。更に、現在育成会を通じて町からの補助金を得るなかで事業を行っているが、事業拡大に向けて資金調達が課題であるとのこと。

【課題に対する提案】

1. 水やりについて

現状この活動について認知度が低いと思われるため、広報等を通じてまずは活動を知ってもらうことが協力者を得るために必要だと思うので、広報担当や観光担当に周知を呼びかけてみたい。

◇政策提案②

2. 事業拡大について

数を増やすにあたっては、現在町で推進している空家対策で整備される予定である、ポケットパークに設置してもらえれば自治管理の面でもありがたいし、間接的には資金援助が行われると思われる。また、別途景観担当として補助制度の創設を目論見たい。

